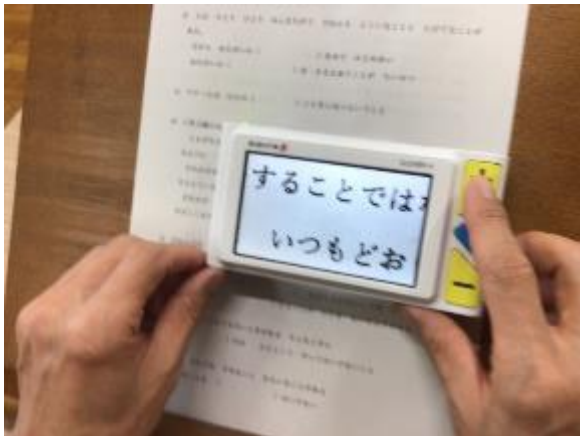


教材紹介カード(高等部1年)

①



③



②



④



① 教科・領域

自立活動および教科全般

② 児童生徒の実態

弱視など視覚障害を抱えていて、プリントの一般的な大きさの文字を読むことが困難な生徒

③ 使用方法・作り方

【電子ルーペ】

使用方法

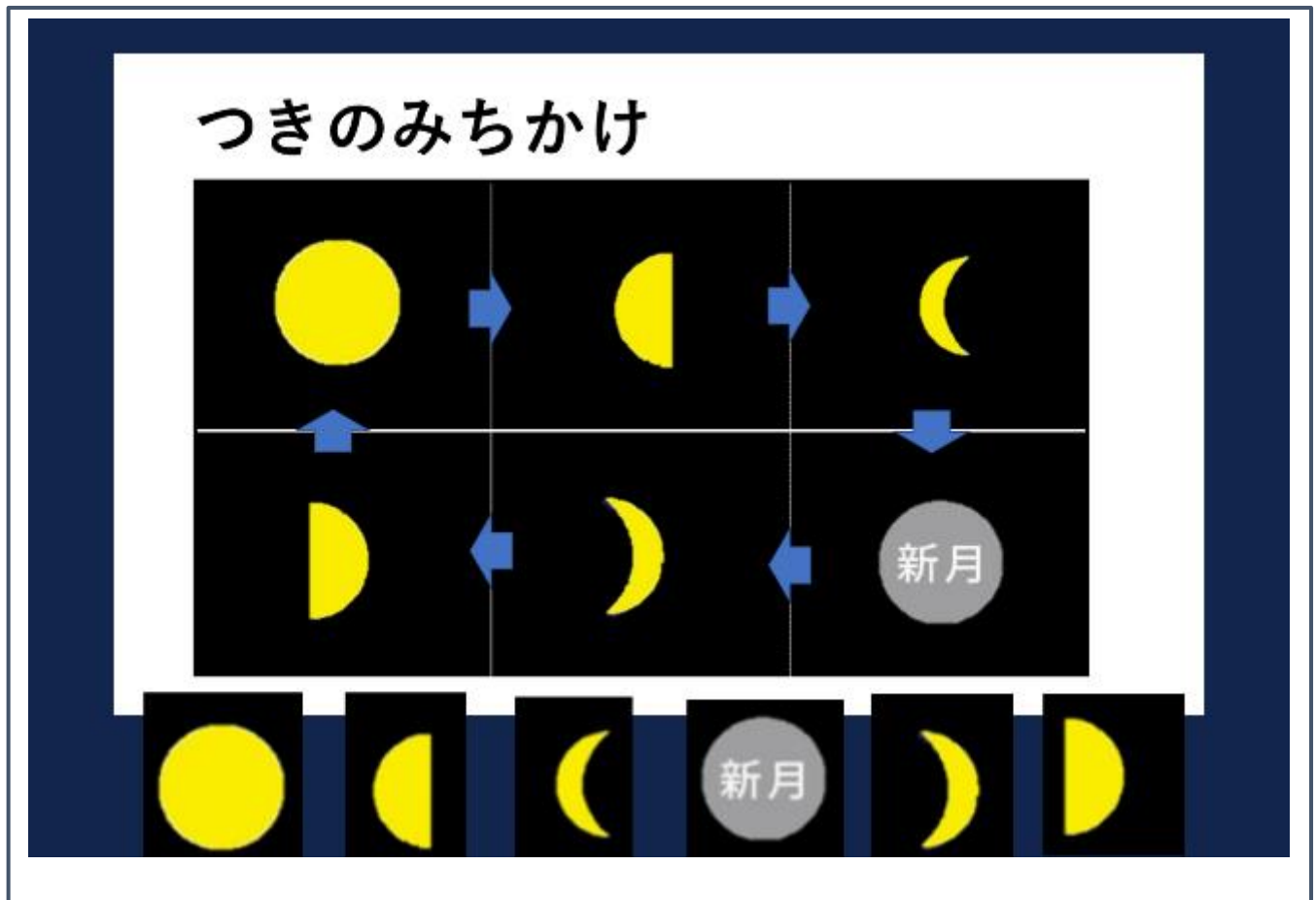
写真①② 学習版と併用し、よい姿勢で文字を拡大して読むことができる。自分でルーペを持つことができれば、自分のペースで読むことができる。拡大率も見えにくさに合わせて変更できる。

写真③ 浮かせて持つことで、文字の記入ができる。自分の書く文字を大きくすることができるので、細かい部分も書きやすくなる。

写真④ スタンドが付いていて装置自身を自立させられるので指導者側の指示がしやすい。

その他、コピーの拡大では追い付かない地図の拡大などに有用である。

教材紹介カード(高等部2年)



① 教科・領域

理科「月と太陽(月の満ち欠け)」

② 児童生徒の実態

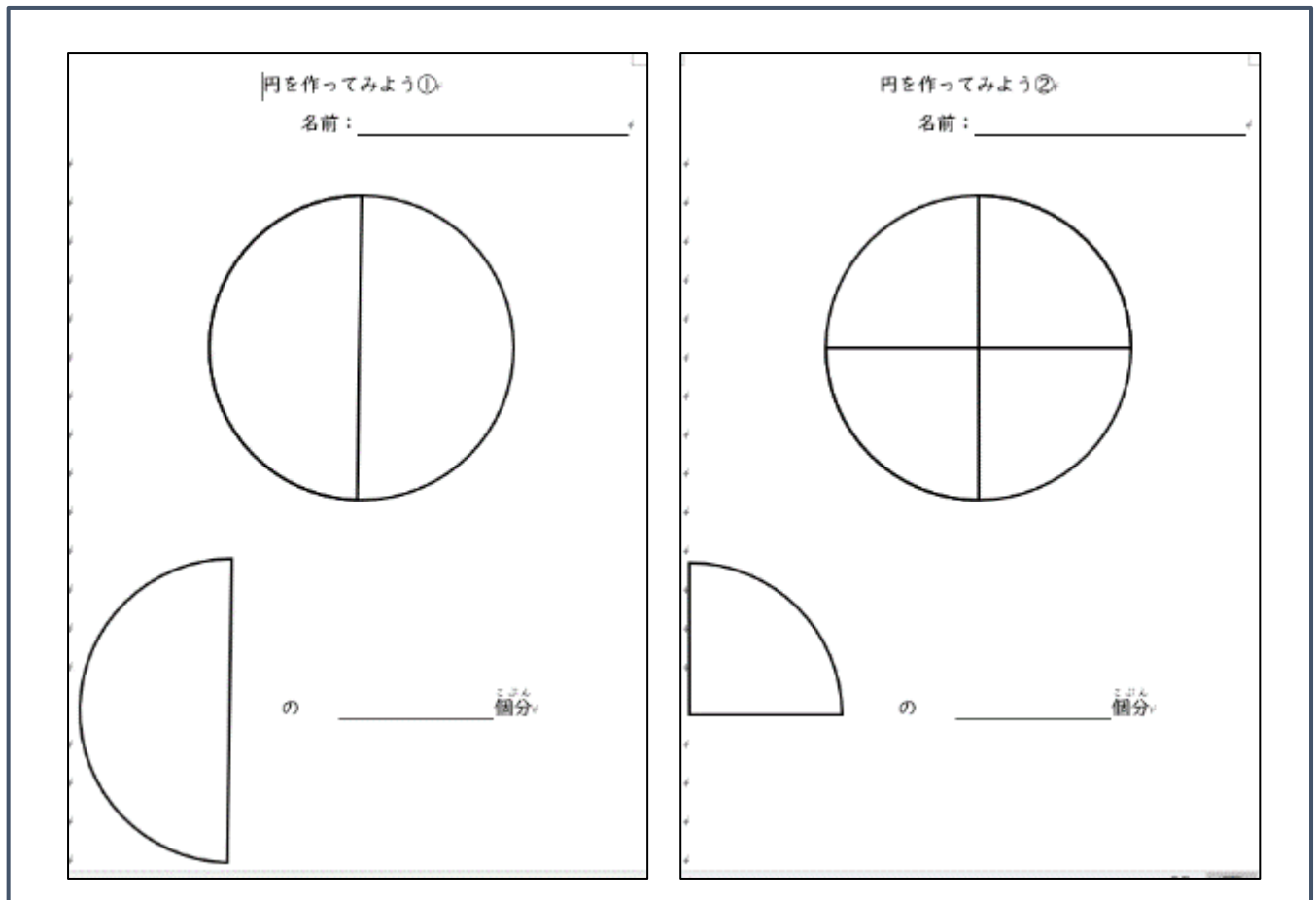
天体の変化を実際に観察することは難しい。早回しの動画を見て、時間的、日にち的变化に着目することができる。

③ 使用方法・作り方

使用方法

- ① 実験動画をもとに、太陽と地球、月の位置によって、月の満ち欠けがあることを学習する。
- ② 月の満ち欠けが、順になって変化していることを理解するために、ロイロノート月の満ち欠けのイラストシートと、個々の月のイラストを合わせ、複数回練習をさせる。

教材紹介カード(高等部3年)



① 教科・領域

数学「分数」

② 児童生徒の実態

1～10 までの数唱ができ、足し算は計算式でできる生徒もいれば、シールなどを数えて計算をする生徒もいる。

③ 使用方法・作り方

分数の理解と計算

- ① 円の折り紙を $1/2$ 円や $1/4$ 円、 $1/8$ 円に切ったものを貼り合わせて円を作る活動を行う。繰り返し行うことで、 $1/2$ 円が2つで円になったり、 $1/4$ 円が4つで円になることを学習する。
- ② それぞれの円に「 $1/2$ くん」や「 $1/4$ くん」などの名前を付けて並べることで、何人いると円になるのかを考える。
- ③ 何人いると円になるのかを考えるときに、足し算の形式で説明することで分数の計算につなげる。